

●地区防災計画はどうやって作成するの？

八潮市「地区防災計画」作成の手引きや国のガイドラインを参考にして、地区防災計画の全体像をつかみ、皆さんのまちで計画づくりを進めてみましょう。



作成するうえでのポイント

できることからはじめよう

最初から完璧な計画を目指す必要はありません。

まずは無理なく実行できる内容で一度計画をまとめ、できないことは課題として整理しましょう。

計画を作成したら、実践しながら見直そう

計画を作成した際に出てきた課題は、防災活動を継続しながら少しずつ検討していきましょう。

日頃から、計画に基づく防災訓練などを重ね、地区に合った計画に見直していくことが重要です。

検討会について

さまざまな方が参加することで、多様な視点で検討することができます。

災害時は、支援が必要な方々（障がいのある方、高齢の方、妊産婦、子ども、外国出身の方など）への配慮も重要です。

検討会は、民生委員・児童委員、消防団、PTA、子ども会、老人クラブの方々や、事業者、社会福祉協議会、学校、福祉施設、NPO、ボランティアなど地区で活動している方々にも参加してもらいましょう。

発行：八潮市 生活安全部 危機管理防災課 令和2年3月
〒340-8588 埼玉県八潮市中央一丁目2番地1 / 電話：048-996-2111 (代表) / FAX：048-995-7367

つくってみよう 地区防災計画

災害が発生したとき、
皆さんはどのような
行動をとりますか？
また、そのための
準備をしていますか？



出典 東日本大震災アーカイブ宮城（石巻市）
提供者 一般社団法人みらいサポート石巻

自分たちの命と
まちを守るために、
地区防災計画の
作成に取り組み
ましょう！



○地区防災計画はどんな計画？

将来予測される災害から身を守るためには、自分自身で自分の命や身の安全を守る「自助」や、地域コミュニティで相互に助け合う「共助」による取組が必要不可欠です。

地区防災計画は、自分たちのまちに災害が起きることを想定し、そのための準備と災害時の自発的な行動について、一定地区内の居住者などの皆さんで作る計画です。

自分たちの命とまちを守るためにも、自主防災組織で地区防災計画作成に取り組みませんか？



地区防災計画の特徴

地域コミュニティが主体となって作成する計画

地区防災計画は、地区の特性をよく知る居住者などが、主体的かつ協働で作成するものです。計画の作成を通じて、地区に住む人たちの交流や連携が進み、地区の活性化と地域防災力の向上が図れます。

地区の特性に合わせて作成する計画

地区防災計画は、自分の住む地区に合わせて作成する計画です。地区によって、自然特性や社会特性、想定される災害も異なるので、それらを踏まえた計画を作成することがポイントとなります。

継続的に地域防災力を向上させる計画

地区防災計画を作った後は、計画の検証や、残された課題を検討するため、平常時から計画に基づく防災活動を実施することで、継続的に地域防災力を向上させることができます。

八潮市は、地区防災計画作成に取り組む自主防災組織の支援をします！

地区防災計画は、自主防災組織の皆さんの意向が反映される計画です。

地区防災計画の作成にご興味のある自主防災組織の皆さん、お気軽に「危機管理防災課」までお問い合わせください。
(連絡先は4ページをご覧ください。)



○地区防災計画にはどんな内容をいれるの？

計画作成にあたっては、次の内容を参考に、地区の特性に応じて活動の考え方や内容を計画に盛り込んでいきます。

計画の目的と基本的な考え方

検討の前提として、「計画の目的」や「基本的な考え方」など、地区防災計画について、共通認識を図りたいことをまとめましょう。

地区の特性

自然特性や社会特性、想定される災害などの情報を集めて、地区の強み（資源）や弱み（課題）といった特性を考えてみましょう。まちを歩いて確認したり、新たな発見を地図に書き込み、防災マップを作って、情報を共有しましょう。

活動体制

組織の規模や地区の実情を踏まえながら平常時や災害時における役割分担や班構成を具体的に決めましょう。

防災活動の内容

災害時における自分や家族の行動、組織の活動内容などを考えましょう。また、平常時に取り組む防災活動を考えましょう。

今後の活動に向けた課題と方向性

最初から完璧な計画を目指す必要はありません。まずは無理なく実行できる内容で一度計画をまとめ、できないことは課題として整理しましょう。

計画の見直し

地区防災計画は内容が古くなったり、忘れてしまわないように、防災訓練などを通して定期的に見直すよう心掛けましょう。

